

ECO EXPO in MORIOKA

エコ博もりおか ゼロカーボン2050

～二酸化炭素を減らせ！～

報告書

(令和7年度開催)



盛岡市環境部
ウェブサイトキャラクター
「石割メイちゃん」



盛岡市ごみ減量・リサイクル
シンボルキャラクター
「めぐるちゃん」

イベント内容

【日時】 令和7年12月7日(日) 10:30~16:00
【場所】 イオンモール盛岡南
(センターコート、さんさ広場、隣接通路及び2階喜久水庵前共有部)
【来場者数】 1,938人

ステージ

- 開会
- 岩手県立盛岡第一高等学校成果発表
- 盛岡市立下橋中学校エコ委員会成果発表
- 協賛団体紹介タイム
- らんま先生の知的体験型エンターテインメントショー
- 手作り紙しばい読み聞かせ
- 海外パビリオン
- 閉会

体験・展示ブース

- 体験ブース
ミニミニツリー・オーナメントづくり
発電してみよう!
(手回し発電・鉄道模型走行)
- パネル展示
ゼロカーボンアクションの取組
エコ川柳
協賛企業の取組
- 協賛団体展示

全体司会 高野真一郎さん

10:30 開会

小枝指好夫実行委員長の「エコ博もりおかゼロカーボン2050～二酸化炭素を減らせ!～」の開会宣言に続き、盛岡市の小原副市長から祝辞をいただきました。



10:40~ 岩手県立盛岡第一高等学校



盛岡市内の小学校から出る給食残渣を堆肥として活用し、その堆肥を地域へ還元することで、資源を循環させる仕組みづくりについてお話していただきました。

昨年度に残食を堆肥化することを達成した先輩方から探求テーマを引き継ぎ、今年度は、システムの実用化に向けた課題研究を行っていく、とのこと。「給食残渣」という身近な視点から「循環型社会」について学ぶことができた素晴らしい発表でした。

発表は、松波日和さん、四戸和佳さん、佐藤道さん。

11:15～ 盛岡市立下橋中学校エコ委員会



脱炭素のためにできることをテーマに委員会や学校での取り組みを発表しました。エコ委員会は1998年に発足し、生徒のみなさんを中心としたごみの減量活動、切電節水、エコ体験学習、シンポジウムや学習会など様々な活動をまとめ大型モニターで説明しました。

中学生が脱炭素に向けて一生懸命に取り組む姿に、多くのことを学び伝える場となりました。

発表は、堀田恵理香さん、齋藤廣太郎さん、菅原聡太さん。

12:00～ 協賛団体紹介

司会の高野さんが協賛団体展示ブースを訪問し、インタビューを行いました。

13:00～ eco実験パフォーマーらんま先生の知的体験型エンターテインメントショー



軽快なトークによる観客との掛け合いで、会場は驚きとワクワクに包まれました。

表面張力やジャイロ効果など、たくさんの体験を交えたステージの最後は、大型空気砲。遠くまで消えずに空気砲が飛んだ会場には、大きな歓声が上がりました。

物を大事に使うことや、科学の楽しさが伝わるステージとなりました。



大型空気砲ドーン!!



14:00～ 手作り紙しばい読み聞かせ



盛岡市の資源循環推進課の啓発教室で行っている紙芝居をイベントで初披露しました。この紙芝居は職員が手作りしており、今回は食品ロスをテーマにした幼児向けと海外のごみ処理調査を紹介した小学生向けの二つを読みました。大型スクリーンにも紙芝居を映し、2～3階のお客様にも見えるようにし、リサイクル オーナメントなどで台を装飾しました。また、めぐるちゃんパペット人形も登場し、小さなお子様から大人の方まで楽しんでもらえました。

14:40～ 海外パビリオン 「いろいろな国のごみの出し方を学ぼう」

- ・事前インタビュー
タルハさん
(バングラデシュ)
アラティさん
(ネパール)
- ・ステージゲスト
エリックさん(アメリカ)
王さん(中国)
カナルさん(ネパール)

事前インタビュー動画のあと、3名のゲストを迎え、各国のごみの出し方・分け方や、日本のごみの出し方で困ったことなどをお話していただきました。日本の分別は複雑で慣れるまで大変だったという皆さん。

普段当たり前になっていることが実は日本だけ?!という気づきの多い時間となりました。



細かい分別がなくごみを出せる国があったり、街中にごみ箱があるのが
当たり前の国もあるんだね～



体験ブース

ミニミニツリー・ クリスマスオーナメントづくり&つみき広場



トイレットペーパーの芯でできた花形の台座に、木の実や葉などの自然素材を飾り付けて、オーナメントにしたり、松ぼっくりに飾り付けてミニミニツリーにしたり、自然を身近に感じられる作品を作りました。

講師 環境学習交流センター



岩手の間伐材を利用したつみき広場では、木の手触りを感じながらつみきでいろいろな形を作る姿が見られました。

運営協力 環境学習交流センター

発電してみよう！



手回し発電で模型電車を走らせました。一人の力ではゆっくりしか進まない電車も、「お父さんも手伝って!」などと声があがり、家族で一緒に発電すると、電車がぐんぐん早く進む様子に、「もう一周!」と盛り上がっていました。手回し発電は気軽に取り組み、子どもたちに人気がありました。

運営協力

パナソニック(株)エレクトリックワークス社
環境学習交流センター



協賛団体



23団体に協賛をいただき、そのうち、5団体がブースを設置し、各団体の環境に対する取組をPRしました。

パネル展示



イベント当日の1週間前から、脱炭素や食品ロス削減の周知啓発のため、盛岡市の取り組みに関するパネル展示を行いました。また、脱炭素に取り組む企業の紹介や、来場者が参加する食品ロスのアンケートも行いました。

イベント当日には、メイン会場脇に食べきれない食品の寄付が可能なフードポストを設置したほか、ノートパソコンや携帯電話などをリサイクルする使用済小型家電ボックスを設置しました。

【協賛団体】(23団体)

IGRいわて銀河鉄道(株)／アリス(株)／(株)一条工務店／岩手県産業資源循環協会県央支部／いわて生活協同組合／エコ協力店いわて／刈屋建設(株)／環境学習交流センター／(株)サン寿広／シナリー化粧品／(公社)食品容器環境美化協会／スチール缶リサイクル協会／住友林業(株)／ニッコー・ファインメック(株)／(株)バイオマズレジン北日本／パナソニック(株)エレクトリックワークス社／(株)東日本ソラナ／文化企業(株)／(株)ベアレン醸造所／北秋容器(株)／盛岡ガス(株)／(一社)盛岡市廃棄物業協会／(協組)盛岡リサイクルセンター
(名称五十音順)

キーワードラリー

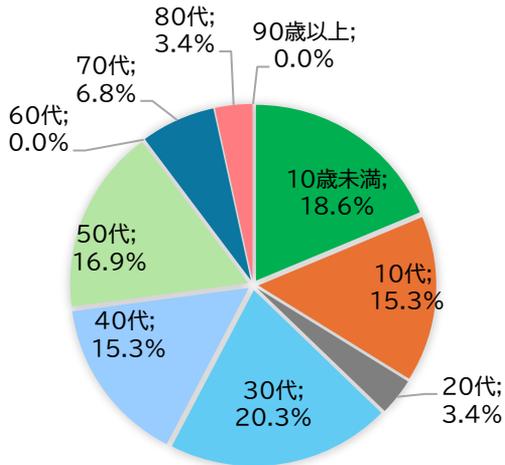


イベント会場内5か所に掲示した2択のクイズに答えてキーワードを集めるキーワードラリーを行いました。クイズに挑戦することで、参加者が環境について考えるきっかけとなりました。やや難しい問題に悩む姿も見られましたが、大半の方が全問正解していました。全問正解すると集まるキーワードは「じゅんかん」でした。

来場者アンケート結果

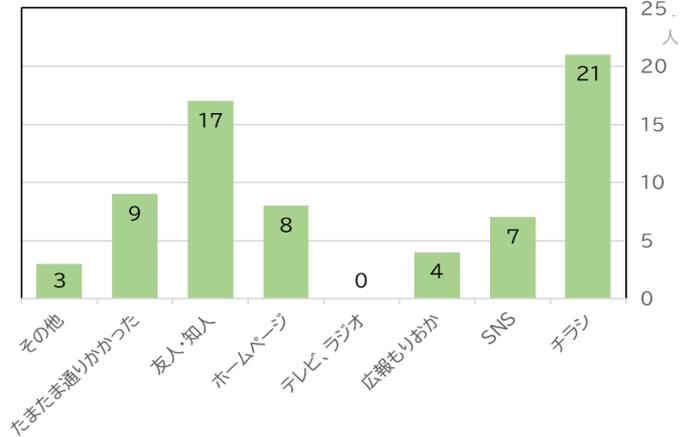
(回答数59)

1 年代を教えてください。



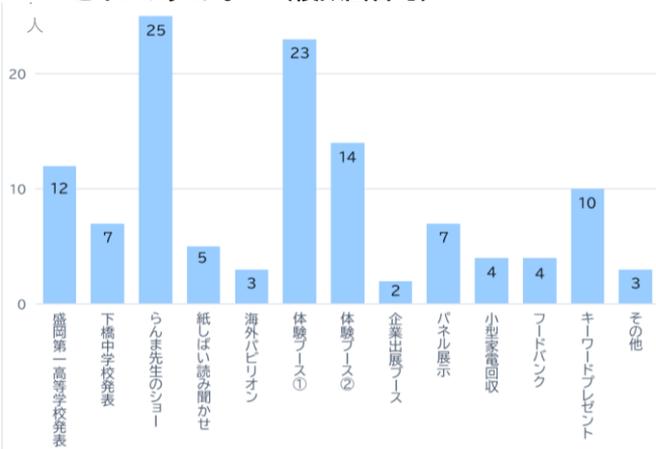
2 このイベントを何でお知りになりましたか。

(複数回答可)

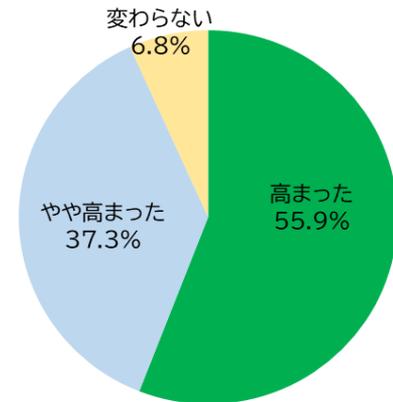


3 面白かった、興味を持ったコーナーはどれですか。

(複数回答可)

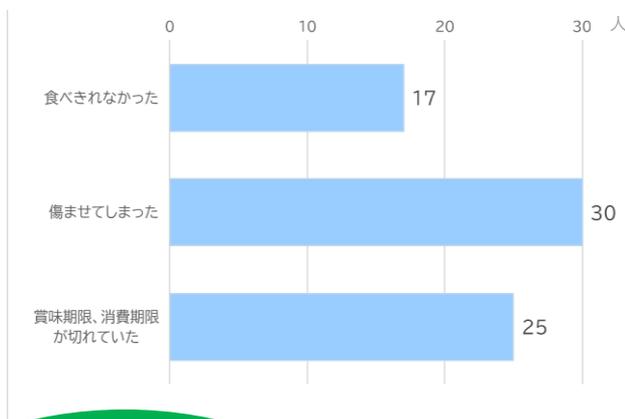


4 このイベントを通じて環境への興味・関心が高まりましたか。

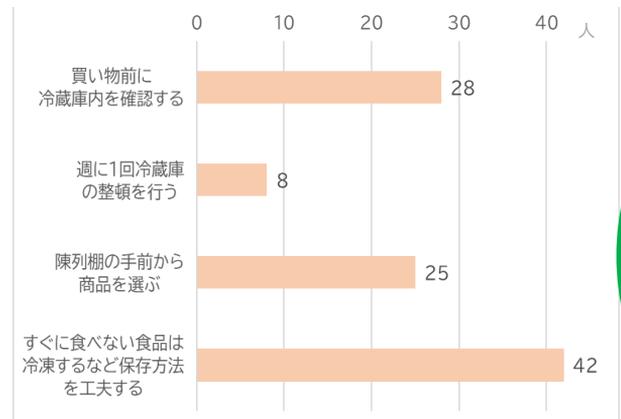


食ロスに関するアンケート

1 食べ物を捨ててしまうときの理由で多いものはどれですか。(複数回答可)



2 家庭で取り組んでいること、または出来そうなことはどれですか。(複数回答可)



エコ川柳

令和7年度 厳選5句

盛岡市の小学4年生が考えた日常のエコに関する川柳を紹介します。
(応募総数 618件)

 <p>delicious!</p>	<p>皿キラリ ごちそうさまを つづけるぞ</p>  <p>ちょっとした 「けした？」 「とめた？」が エコになる</p> 
 <p>森林を ふやしてへらす 二酸化炭素</p>	<p>チャレンジは 自分のために みんなのために</p> 
 <p>素敵な作品を どうもありがとう！</p>	<p>弟が 人間そうじき ゆかをはう</p> 

主催：もりおかエコライフ実行委員会

岩手県環境生活部、“世界につながるまち盛岡”市民会議、玉山地域自治会連絡協議会、盛岡市、盛岡市きれいなまち推進協議会、盛岡市町内会連合会、盛岡商工会議所、(一社)盛岡青年会議所

〒020-8531 盛岡市若園町2番18号 (盛岡市環境部環境企画課・資源循環推進課)

TEL 019-626-3754・3733 FAX 019-626-4153

✉kankyoushou@city.morioka.iwate.jp

✉sigen@city.morioka.iwate.jp